

## 5日、地方選挙の実施

### A. 主な動き

#### 1. 内政

##### 地方選挙に向けた動き

- ・1日、クリロフ社会党党首は、キシナウ市長選挙への立候補取り下げ及び同選挙におけるドドン前第一副首相兼経済・貿易相(共産党)の支持を表明。
- ・2日、フィラト首相(自由民主党党首)は、ルプ大統領代行(民主党党首)に対し、ブリガ労働社会保障家族相(民主党)のキシナウ市長選挙への立候補取り下げ及びキルトアケ現市長(自由党)支持を表明するよう再度要求。これに対し、同日、ブリガ労働社会保障家族相は、立候補取り下げの意向はない旨発言。
- ・3日、中央選挙管理委員会は、選挙監視員対象のブリーフィングを開催。選挙実施に向けた準備状況につき説明。

##### 5日、地方選挙の実施

- ・投票は7時より21時まで(一部23時まで)実施。  
[中央選挙管理委員会による投票率]  
全体の投票率:54.30%、キシナウ市の投票率:56.47%、バルチ市の投票率:42.35%  
[中央選挙管理委員会による得票率(開票率100%)]
- ・キシナウ市長選挙  
ドドン前第一副首相兼経済・貿易相(共産党):48.07%、キルトアケ現市長(自由党、自由民主党推薦):46.51%、ブリガ労働社会保障家族相(民主党):2.56% 等
- ・キシナウ市議会選挙  
共産党:46.11%、自由党:31.82%、自由民主党:13.99%、民主党:3.13% 等
- ・バルチ市長選挙  
パンチュク現市長(共産党):68.27%、トンチュク元市長(自由民主党):15.41%、ヴァカルチュク元国会議員(自由党):7.38%、ハルチェンコ・バルチ市国家官房長官(民主党):5.26% 等
- ・バルチ市議会選挙(開票率100%)  
共産党:63.49%、自由民主党:12.70%、自由党:6.07%、民主党:5.33% 等

##### その他

- ・2日、フィラト首相は、ルプ大統領代行が30日に提案したAIEI評議会開催の必要性を否定。
- ・5日、フィラト首相は、ゴーチャ前自由民主党第一副党首の離党を促した「黒幕」の名を選挙後に明らかにする旨発言。

#### 2. 経済

##### マクロ経済

- ・30日、経済省は、2010年の対モルドバ対外直接投資額を2009年比1.6倍の1億9,890万ドル(うちEU諸国からの投資が76.6%)と発表。
- ・31日、国家統計局は、2010年第1四半期にモルドバから出稼ぎに出た人の数を26万8,700人(うち農村出身者が68.2%)と発表。
- ・2日、国家統計局は、1～4月期の工業生産高は、昨年同期比8.5%増と発表。鉱業(26.5%)及び加工業(12.6%)が牽引役。

##### 財政

- ・30日、イオニタ経済政策・予算金融議会常設委員会委員長は、2012～2014年の予算・税制策に関し、法人税改正による税収増、ワイン、クリスタルに対する物品税廃止及びリカー類、タバコに対する物品税の増税、関税の引き上げ、固定資産税の引き上げ等が検討されている旨発言。

##### その他

- ・31日、コココーラ・ボトラーズ社は、キシナウ市において、PETボトルの製造ライン及び製品倉庫の操業を開始。

##### 世論調査

- [公共政策研究所]  
・物事が悪化していると考えている人の割合:65%(昨年比5ポイント増)
- ・現在の経済状況  
満足していない:56%、変わらない:37%、悪化している:40%(悪化していると答えた人の割合は昨年比8ポイント増)

#### 3. 外交

##### 1～3日、ルプ大統領代行のイタリア訪問

- ・1日、ルプ大統領代行は、在イタリアのモルドバ人と会談、モルドバ国内の政治危機、イタリアにおける社会保障、年金、対モルドバ投資等につき協議。
- ・2日、ルプ大統領代行は、ローマにおいて、アリエフ・アゼルバイジャン大統領と会談、二国間関係、国際場裡における協力等につき協議。
- ・2日、ルプ大統領代行は、フィーニ・イタリア下院議長と会談、二国間関係、沿ドニエストル問題、議会間交流等につき協議。
- ・2日、ルプ大統領代行は、イタリア統一150周年記念軍事パレードに出席、ファン＝ロンパイ欧州理事会議長、メドヴェージェフ露大統領他と立ち話。

#### その他

- ・30日、ルプ大統領代行は、モルドバがコソボを承認することはない旨改めて表明。
- ・30日、ルプ大統領代行は、中欧大統領会合において、オバマ米国大統領と7～8分間会談、モルドバの欧州統合、沿ドニエストル情勢等につき協議した旨発表。

### 4．沿ドニエストル

#### 地方選挙

- ・27日、中央選挙管理委員会は、コルジョバ村の有権者のための投票所を近隣のコシエリ村に開設することを決定。5日、コルジョバ村の有権者は、コシエリ村の投票所にて投票。

#### 経済

- ・30日、沿ドニエストル「政府」は、市場価格との差を埋めるため、電気料金(市民向け20.9%)、暖房料金(地域ごとに15.8～17%)及び水道料金(29%)の値上げを決定。
- ・31日、チェルネンコ沿ドニエストル「経済相」は、2012年1月1日より、沿ドニエストルにおける天然ガス料金は、企業向けが20.4パーセント、一般国民向けが17パーセント値上げされる、特に一般国民向けのガス料金は1,000立方メートルあたり820沿ドニエストル「ルーブル」(約79.6米ドル)となる旨説明。

#### 「5+2」者協議

- ・2日、フィラト首相は、チェクオリスOSCE特使と会談、6月21日にモスクワで開催予定の「5+2」者公式交渉再開に関する問題を協議。
- ・2日、ルプ大統領代行は、フィーニ・イタリア下院議長との会談において、モルドバ政府は沿ドニエストル問題の政治解決を追求しており、沿ドニエストル側に対する特別な地位の付与に賛成している、「5+2」者公式交渉の再開が必要である旨発言。

### 5．防衛

#### 軍事技術協力

- ・27日、中国は、浄水装置、冷蔵庫、ジェネレーター及びテレビ会議用機器等約700万レイ相当の機器をモルドバ軍に提供。中国は、これまでモルドバ軍に2,500万元(4,500万レイ以上)相当の支援を実施してきた。
- ・2日、米国は、トラック、救急車、冷蔵庫及びジープなど100万ドル相当の装備品等をモルドバ軍に提供。

### 6．二国間関係

- ・「日本たばこインターナショナル(JTI)」社は、モルドバ税関当局に対し、タバコ密輸対策のために、特殊機材設置車及び2万ユーロを供与。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。  
(了)